

第 2 条 競技時間, 終了合図, タイムアウト

競技時間

1 の 1 成年・高校生のチームの競技時間はすべて, 前後半各 30 分が標準である。休憩時間は 10 分が標準である。

中学生の標準の競技時間は, 前後半各 25 分である。休憩時間は 10 分が標準である。

~~小学生の標準の競技時間は, 「J-クイックハンドボール」のそれを標準とする。休憩時間は 5 分が標準である。「J-クイックハンドボール」を実施する際は, 下記の通り行うものとする。~~ (削除)

小学生の標準の競技時間は, 前後半各 15 分 である。休憩時間は 10 分が標準である。 (追記)

【注】 IHF 大会, 大陸連盟大会または国内大会 (小学生を除く) において, 主催者の権限で休憩時間の時間を決定できる。しかし, 休憩時間の最長時間は 15 分までとする。

~~「J-クイックハンドボール」~~

~~2 の 1 J-クイックハンドボールを実施する場合は, 競技時間を次のように定める。~~

- ~~・ 競技は 3 セット制で行い, 競技時間はそれぞれ 10 分である。~~
 - ~~・ 休憩時間は 5 分が標準である。~~
 - ~~・ 延長戦については競技規則 2:2 に則り, 前後半で行う。~~
 - ~~・ 各セットで, 「セット回数表示板」をオフィシャル席中央に掲示する。~~
- ~~「セット回数表示板」は A 4 規格のサイズで, 1 から 3 の数字を明確に記入する。~~ (削除)

【中略】

- 2 の 10 各チームは、 正規の競技時間中の前半と後半に各 1 回ずつ、 1 分間のチームタイムアウトを取る権利がある。しかし、 延長戦ではチームタイムアウトを取ることができない（競技規則解釈 3）。

【注】 IHF 大会、 大陸連盟大会、 または国内大会（**小学生を除く**）において、 主催者の権限で 1 分間のチームタイムアウトの申告回数を決定できる。しかし、 その回数は最高 3 回までであり、 かつ前半、 後半（延長戦は除いて）それぞれにおいて最高 2 回までとする（競技規則解釈 3 を参照）。

「J-ティックハンドボール」

- ~~2 の 10 各チームは、 正規の競技時間中の前半と後半に各 1 回ずつ、 1 分間のチームタイムアウトを取る権利がある。しかし、 延長戦ではチームタイムアウトを取ることができない（競技規則解釈 3）。~~ **（削除）**